

報告資料

(1) 第58回全国社会教育研究大会千葉大会について	1
・ 第58回全国社会教育研究大会千葉大会（概要）	
(2) 新たな「公の施設の見直し方針」について	2
・ 公の施設の見直し方針	2
・ 所管施設の新見直し方針	3

第58回全国社会教育研究大会千葉大会（概要）

平成28年10月26日（水）～28日（金）の期間に、千葉県文化会館及びTKPガーデンシティ千葉の2会場で開催した。

参加者は、主に全国の社会教育委員，社会教育行政担当者，生涯学習・社会教育関係者等で，当日の参加人数は，約1,300人であった。

「人づくり・まちづくり」を大きな柱として行い，主な概要は，次のとおりであった。

○全体会

「社会に役立つ人づくり」をテーマに，株式会社オリエンタルランドの金木氏による基調講演を行った。主な話の展開は，「オリエンタルランド設立の思い」，「これまでの経緯」，「人材力向上に向けた取組」，「当社事業と社会課題」であった。

続く，シンポジウムでは，「地域コミュニティ再生に向けて～人づくり・まちづくりをどのようにしていくか～」をテーマに，コーディネーターを明石氏，シンポジストに岸川氏，鈴木氏，平岩氏で行った。主な展開は，「自己紹介とどんな活動をしているか」，「これまでの活動でなかなかうまくいかなかったことについて」，「人づくり・まちづくりはロボットができるか。できないとしたら，私たちの教育の可能性は。」，「シンポジストの方々の才能は，学校教育あるいは社会教育，もしくは社会でもまれる中で培われたのか。」であった。

○分科会

5つの分科会に分かれ，サブテーマをもとに，事例発表及びグループディスカッション等を行った。各分科会のサブテーマと事例発表は，

- 第1分科会「学校教育を共に支える地域人材の育成」
（事例発表：北海道登別市，我孫子市）
- 第2分科会「家庭の教育力向上を図る支援のあり方」
（事例発表：福岡県みやま市，埼玉県白岡市）
- 第3分科会「子どもをとりまく活気ある大人のネットワークづくり」
（事例発表：群馬県千代田町，福岡県郡山市）
- 第4分科会「人づくり・まちづくりを進める社会教育委員の役割（入門編）」
（事例発表：鹿児島県霧島市，長野県岡谷市）
- 第5分科会「防災・減災，被災からの復興を目指す中での社会教育の役割」
（事例発表：旭市）

であった。

なお，次年度の全国社会教育研究大会は，9月11日（月）～13日（水）の期間に，「まちづくり・人づくりに地域ぐるみで取り組む社会教育の在り方～今こそ，社会教育委員の出番」を研究主題として，北海道で開催される。

公の施設の見直し方針

１ 見直しの経緯等

平成２４年３月に策定した「公の施設の見直し方針」は、策定から３年が経過し、公共施設等総合管理計画策定に向けた動きや依然として厳しい県の財政状況等を踏まえ、施設の必要性や管理手法等について改めて検討し、更なる見直しを進めることが必要となり、方針の改定を行うこととなった。

本年６月に、千葉県行政改革審議会から新たな「公の施設の見直し方針」の答申を受け、その後、パブリックコメントによる意見募集を経て、７月に知事が本部長の行政改革推進本部で決定した。

２．対象施設 ９９施設

３．公の施設の見直し方針 区分による整理

区 分		所管施設	施設数 (合計 99)
①廃止・移譲	施設を廃止・移譲等するもの		1
②施設のあり方検討	移譲等の可能性、利用方策の抜本的な見直し、今後のあり方等を検討するもの	さわやかちば 県民プラザ	8
③施設内容検討	施設の一部移譲や複数施設設置の必要性等について検討するもの	図書館 青少年教育施設	56
④管理手法検討	指定管理者制度等の導入について検討するもの		3
⑤有効活用策検討	施設利用率・稼働率の向上、広域利用の拡大、空きスペースの有効活用等を検討するもの		8
⑥現行維持	運営改善を図りつつ施設を維持するもの		23

(注)「公の施設」について

地方自治法（抜粋）

第 244 条第 1 項 普通地方公共団体は、住民の福祉を増進する目的をもって、その利用に供するための施設（これを公の施設という。）を設けるものとする。

所管課	施設名	新見直し方針	
		区分	内容(現行維持の場合はその理由)
生涯学習課	手賀の丘少年自然の家 (柏市)	施設内容検討	児童生徒数の減少、利用状況、施設の老朽化の状況等を踏まえ、県立5施設体制を見直すこととし、次期指定管理期間中に各施設の取扱方針を決定する。
	水郷小見川少年自然の家 (香取市)		
	君津亀山少年自然の家 (君津市)		
	東金青年の家 (東金市)		
	鴨川青年の家 (鴨川市)		
	さわやかちば県民プラザ (柏市)	施設のあり方検討	複合施設として建設されたが、現在はほぼ生涯学習センター機能のみとなっており、施設を十分活用できていない状態にあることから、生涯学習センターとして必要な施設規模を精査の上、余裕・余剰部分の転用や民間活用等を含めた有効活用策について幅広く検討を行う。
	中央図書館 (千葉市)	施設内容検討	現行の県立図書館3館体制について、その役割や今後の図書館を取り巻く状況を踏まえ、機能集約化等も含め継続して検討を行う。
	西部図書館 (松戸市)		
	東部図書館 (旭市)		